

エネルギーの原風景

永田 円了



Into The Energy

あなたは人を見るとき、どのような視点で見ますか。名刺の肩書きなどで見ますか、それとも、欧米人のように、ファーストネームで呼び合う関係の中で見ますか。
それとも、人を命のエネルギーとして見ますか。 今回のテーマは、人の中心にある「エネルギーの原風景」を見ることで、立ち上がってくるものとは何か、を明らかにしたいと思う。

三つの自己

- 表層の自己**：肩書きの自己、人目を気にする自己、金、人脈パワーが財産、管理し管理される、損得勘定、多忙なだけの毎日
深層の自己：天使も悪魔も共存する自己、マザー・テレサもヒットラーも同居する自己
エネルギー層の自己：命(いのち)としての自己、対置概念のない世界

エネルギー層からの発信

2009年6月、オバマ大統領はエジプトのカイロ大学で「イスラムとの新たな始まり」と題して演説をした。これはまさに歴史に残るエネルギー層からの発信であったと思う。
「私はイスラムへの偏見と戦っています(中略)あなた方(イスラム教徒)も、米国(キリスト教徒)への偏見を改めてください(中略)これからは、イスラム教徒とキリスト教徒との新たな関係がスタートするのです」
そして、イスラム聖典コーランを引用し、「無害なものを殺すことは、全人類を殺すことに等しい。一人の人間を救う者は、全人類を救うに等しい」と。



エネルギー層と向き合う



次男洋二郎さんを25歳の若さで失ったノンフィクション作家、柳田邦男氏が当時を語る。
「親父は作家だろう、作家だったら世の中のことを他人事のように書くんじゃなくて、自分の中の地獄を書けよ！」
これは、表層の自己で満足していた柳田氏に対する、エネルギー層からの強烈なメッセージであった。それを契機に柳田氏の意識に変化が起きる。「自分が変わったな、と思うのは、自分の感情にわりと素直になったこと、笑う時には笑い、泣きたい時には泣くというような」と語る

事例

The Sound Of Music / ベルギー セントラルステーションでの出来事 (You Tube より)
オバマ大統領、カイロ大学での演説 (2009年6月)
アメリカ映画『デッドマン ウォーキング』1995年
柳田邦男『心の時代 - 再び生きる力を』NHK教育 4/14/2002
鳥越俊太郎『医療の現場』BS朝日 3/14/2009
なかにし礼、NHK知る楽『ヒット曲誕生の神秘』8/31/2009
ダイアナ・ロス 歌「If We Hold On Together」
アメリカ映画『バガー・ヴァンスの伝説』2000年ロバート・レッドフォード監督・制作
笹本玲奈(れな) 歌「Someone Like You」、劇団四季『ジキルとハイド』より

